

## 会告 I

### 2019年第67回日本輸血・細胞治療学会学術総会のご案内(第5報)

**会期**：2019年5月23日(木)～5月25日(土)  
**会場**：ホテル日航熊本, くまもと県民交流館パレア, 鶴屋ホール  
**総会長**：米村 雄士(熊本大学医学部附属病院 輸血・細胞治療部)  
**テーマ**：最良の輸血・細胞治療をめざして：次世代へのメッセージ

#### 第67回学術総会本部：

熊本大学医学部附属病院 血液・膠原病・感染症内科  
〒860-8556 熊本県熊本市中央区本荘1-1-1  
TEL：096-373-5157(直通) FAX：096-373-5158  
E-mail：yuyone@gpo.kumamoto-u.ac.jp

#### 第67回学術総会運営事務局：

株式会社メッド  
〒812-0013 福岡県福岡市博多区博多駅東2-5-28  
TEL：092-432-2533 FAX：092-432-2534  
E-mail：67jstmct@med-gakkai.org

#### 学会本部事務局(学会入会申込等)：

一般社団法人日本輸血・細胞治療学会 事務局  
〒113-0033 東京都文京区本郷2-14-14 ユニテビル5階  
TEL：03-5804-2611 FAX：03-5804-2612  
E-mail：info@mail.jstmct.or.jp

第67回学術総会ホームページ：<http://www.med-gakkai.org/67jstmct/>

**事前参加登録**：2019年2月20日(水)より、総会ホームページにて募集いたします。

[募集期間] 2019年2月20日(水)～4月8日(月)正午

[参加費] 一般10,000円

※事前参加登録にご協力いただきました場合、

会員懇親会の参加費3,000円を1,000円OFFの2,000円とさせていただきます。

※本会では、共催セミナーのお弁当整理券を「事前予約制」といたします。

事前参加登録時に、参加登録とあわせてお申しいただくことができます。

なお、全セミナー当日整理券の配布が若干数ございます。

**宿泊について**：総会ホームページにて一般参加者様向けの宿泊予約窓口を設けております。  
会場近辺の宿泊施設は限られておりますので、お早目のご予約にご協力をお願いいたします。

[担当窓口] 有限会社 学会旅行センター熊本

〒860-0811 熊本市中央区本荘1-1-1

熊本大学医学部附属病院内

TEL：096-363-0865 FAX：096-363-0867

tabi@higo.co.jp

[営業時間] 10：00～17：00(土・日・祝日休業)

託児施設について：詳細は総会ホームページにてご案内いたします。

## プログラム

(平成 31 年 1 月 22 日現在) ※一部仮題

### <総会長講演>

#### 「輸血細胞治療と血液内科の両立をめざして」

5 月 24 日 (金) 11:00~11:40

座長：佐川 公矯 (福岡県赤十字血液センター前所長/久留米大学名誉教授)

演者：米村 雄士 (熊本大学医学部附属病院輸血・細胞治療部)

### <特別講演>

#### 1 「ヒト T 細胞白血病ウイルス 1 型 up-to-date」

5 月 23 日 (木) 11:00~11:50

座長：高月 清 (公益財団法人田附興風会医学研究所北野病院)

演者：松岡 雅雄 (熊本大学大学院生命科学部血液・膠原病・感染症内科学)

#### 2 「トロンボポエチンを発見して」

5 月 23 日 (木) 11:00~11:50

座長：前川 平 (京都府保健環境研究所所長)

演者：加藤 尚志 (早稲田大学大学院先進理工学研究科生命理工学専攻/教育学部理学科生物学)

#### 3 「米国の研究から学んだこととは」

5 月 23 日 (木) 13:10~13:50

座長：河北 誠 (特別医療法人萬生会熊本第一病院理事長)

演者：小川真紀雄 (サウスカロライナ医科大学名誉教授)

#### 4 「米国における輸血と造血幹細胞移植の現況」

5 月 24 日 (金) 13:10~14:00

座長：米村 雄士 (熊本大学医学部附属病院輸血・細胞治療部)

演者：中村亮太郎 (シティ・オブ・ホープ血液・造血幹細胞移植部)

共催：アレクシオンファーマ合同会社

#### 5 「Transfusion-related acute lung injury from the past to future」

5 月 24 日 (金) 11:00~11:40

座長：岡崎 仁 (東京大学医学部附属病院輸血部)

演者：Behnaz Bayat (Justus Liebig University Giessen)

#### 6 「今後の日本の医療の課題とそれへの対応 —2040 年を見据えて—」

5 月 25 日 (土) 11:00~11:50

座長：大戸 齊 (福島県立医科大学総括副学長)

演者：福島 靖正 (国立保健医療科学院長)

### <教育講演>

#### 1 「造血幹細胞移植療法の進歩」

5 月 23 日 (木) 10:50~11:20

座長：稲葉 頌一 (医療法人茜会昭和病院)

演者：豊嶋 崇徳 (北海道大学大学院医学研究院内科系部門内科学分野)

**2 「CAR-T 細胞療法の基礎と今後の臨床展開」**

5月23日(木) 11:20~11:50

座長: 室井 一男 (自治医科大学附属病院輸血・細胞移植部)

演者: 赤塚 美樹 (名古屋大学医学部分子細胞免疫学分野)

**3 「次世代シーケンサーの臨床応用 —現状・課題・展望—」**

5月23日(木) 13:10~13:40

座長: 竹下 明裕 (浜松医科大学医学部附属病院輸血・細胞治療部)

演者: 松井 啓隆 (熊本大学大学院生命科学研究部臨床病態解析学分野)

**4 「アレルギー性輸血副作用の診断・解析ツールとしての好塩基球活性化試験の可能性」**

5月24日(金) 14:05~14:35

座長: 池淵 研二 (埼玉医科大学病院中央検査部)

演者: 平山 文也 (日本赤十字社近畿ブロック血液センター)

**5 「未来の血液製剤」**

5月25日(土) 13:10~13:40

座長: 入田 和男 (日本赤十字社九州ブロック血液センター)

演者: 佐竹 正博 (日本赤十字社血液事業本部中央血液研究所)

**6 「洗浄血小板製剤の供給実態と臨床効果から見てきた血小板輸血の将来像」**

5月25日(土) 10:30~11:00

座長: 高松 純樹 (日本赤十字社東海北陸ブロック血液センター)

演者: 石田 明 (埼玉医科大学国際医療センター輸血・細胞移植部)

**<シンポジウム>****1 「平時・非常時の血液供給体制」**

5月23日(木) 09:00~11:00

座長: 高橋 孝喜 (日本赤十字社血液事業本部)

松崎 浩史 (福岡県赤十字血液センター)

①需要予測を踏まえた血液事業の将来展望

演者: 鹿野 千治 (日本赤十字社血液事業本部経営企画部事業戦略室)

②血液供給体制の現状と課題 (災害時の供給体制について)

演者: 千葉 広一 (日本赤十字社血液事業本部経営企画部)

③血液供給に関わる血液センターと医療施設の協力体制

演者: 中川 國利 (宮城県赤十字血液センター)

④地域における血液製剤の供給体制

演者: 田中 朝志 (東京医科大学八王子医療センター輸血部)

共催: 日本赤十字社

**2 「予期せぬ抗体への対応」**

5月23日(木) 13:10~15:10

座長: 山田 尚友 (佐賀大学医学部附属病院検査部)

岸野 光司 (自治医科大学附属病院輸血・細胞移植部)

① Daratumumab による非特異反応への対処法

演者: 奥田 誠 (東邦大学医療センター大森病院輸血部)

② 温式自己抗体と高頻度抗原に対する抗体への対処法

演者: 常山 初江 (日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター)

③直接抗グロブリン試験陽性検体への対処法

演者：蓮沼 秀和（東邦大学医療センター佐倉病院輸血部）

④移行抗体への対処法

演者：川畑 絹代（福島県立医科大学附属病院輸血・移植免疫部）

共催：オーソ・クリニカル・ダイアグノスティックス株式会社

3 「移植医療に関する HLA 関連検査」

5月23日（木）09：00～10：50

座長：加藤 栄史（愛知医科大学輸血部・細胞治療センター）

中島 文明（日本赤十字社血液事業本部中央血液研究所）

① HLA タイピングと抗体検査について

演者：高 陽淑（日本赤十字社近畿ブロック血液センター）

②造血幹細胞移植における HLA 関連検査の進歩

演者：一戸 辰夫（広島大学原爆放射線医科学研究所血液・腫瘍内科研究分野）

③臓器移植における HLA 関連検査の意義

演者：橋口 裕樹（日本赤十字社福岡赤十字病院移植センター）

④ HLA 検査の現状と課題

演者：杉本 達哉（東海大学医学部付属病院臨床検査技術科輸血室）

⑤ HLA 関連検査の認定資格と施設の現状と将来：輸血・細胞治療学会から

演者：藤井 明美（県立広島病院）

⑥ HLA 関連検査の認定資格と施設の現状と将来：組織適合性学会から

演者：田中 秀則（HLA 研究所）

合同開催：日本組織適合性学会

4 「iPS 細胞/幹細胞が拓く最新医学研究」

5月23日（木）13：10～15：10

座長：中畑 龍俊（京都大学 iPS 細胞研究所）

江良 択実（熊本大学発生医学研究所幹細胞誘導分野）

① Neurodegenerative disease modeling and drug discovery using iPSC-based technologies

演者：井上 治久（京都大学 iPS 細胞研究所）

②疾患由来 iPS 細胞を使った疾患解析と薬剤開発

演者：江良 択実（熊本大学発生医学研究所幹細胞誘導分野）

③骨髄間葉系幹細胞による表皮水疱症治療戦略

演者：玉井 克人（大阪大学大学院医学系研究科再生誘導医学寄附講座）

④血管内皮幹細胞による血管の維持・修復機構と治療応用

演者：内藤 尚道（大阪大学微生物病研究所情報伝達分野）

5 「輸血感染症」

5月23日（木）09：00～11：00

座長：佐竹 正博（日本赤十字社中央血液研究所）

浜口 功（国立感染症研究所血液・安全性研究部）

①血液製剤のウイルス感染対策

演者：松林 圭二（日本赤十字社血液事業本部中央血液研究所）

②輸血による細菌感染症への対応と限界

演者：長村登紀子（東京大学医科学研究所附属病院セルプロセッシング・輸血部）

③日本の臓器移植患者での HEV 感染状況

演者：大河内信弘（水戸中央病院）

④オリンピック・パラリンピックに向けた新興・再興感染症対策

演者：大隈 和（国立感染症研究所血液・安全性研究部）

⑤輸血医療に関わる一連の感染症検査の政策的・経済的考察

演者：河原 和夫（東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科政策科学分野）

共催：富士レジオ株式会社

## 6 「次世代の看護師に繋ぐ、輸血教育活動」

5月23日（木）14：00～15：40

座長：立花 直樹（青森県立中央病院）

井上 有子（熊本大学医学部附属病院）

①長野県における看護師専門委員会の活動と今後の課題

演者：堀内 香与（信州大学医学部附属病院看護部）

②輸血機能評価（I&A）視察員としての活動

演者：山崎 喜子（青森県立中央病院看護部）

③看護師への輸血教育の充実と発展を目指して

演者：松本 真弓（神鋼記念病院血液病センター）

④教育体制の再構築で活躍する学会認定・臨床輸血看護師の姿が、輸血リンクナースから臨床輸血看護師へと踏み出す一歩となる

演者：森 美恵子（大垣市民病院）

## 7 「今後求められる自己血輸血とは？」

5月23日（木）09：00～11：00

座長：面川 進（秋田県赤十字血液センター）

熊川みどり（福岡大学病院輸血部）

①整形外科における自己血輸血

演者：徳永 裕彦（関西医科大学総合医療センター整形外科）

②婦人科手術における自己血輸血

演者：森田 峰人（東邦大学医療センター大森病院産婦人科）

③心臓血管外科領域の自己血輸血

演者：上杉 英之（済生会熊本病院心臓血管外科）

④心臓血管外科手術における輸血の適正準備方法の検討

演者：小川 公代（群馬県立心臓血管センター技術部臨床検査課）

⑤制限輸血（Bloodless Medicine）の新たな展開

一術前貧血補正の推進と各種自己血輸血実施の拡大を目指して一

演者：面川 進（秋田県赤十字血液センター）

## 8 「小規模施設および在宅における輸血医療体制の構築に向けて」

5月23日（木）13：40～15：40

座長：北澤 淳一（青森県立中央病院臨床検査部）

末岡榮三朗（佐賀大学医学部臨床検査医学講座）

①在宅輸血の現状と問題点

演者：赤坂 浩司（赤坂クリニック）

②在宅医療における輸血医療のガイドライン策定に向けて

演者：北澤 淳一（青森県立中央病院臨床検査部）

③小規模医療機関における輸血医療の現状

演者：田中 朝志（東京医科大学八王子医療センター輸血部）

④在宅医療における輸血医療の標準化のためのシステム作り

演者：末岡榮三朗（佐賀大学医学部臨床検査医学講座）

9 「周術期医療における輸血療法」

5月24日（金）09：00～11：00

座長：稲田 英一（順天堂医院麻酔科・ペインクリニック）

座長：宮田 茂樹（国立循環器病研究センター臨床検査部）

①周術期医療におけるPBM

演者：末岡榮三朗（佐賀大学医学部臨床検査医学講座）

②周術期における濃縮フィブリノゲン製剤

演者：山本 晃士（埼玉医科大学総合医療センター輸血細胞医療部）

③術中大量出血時の循環動態の管理と輸血

演者：坂口 嘉郎（佐賀大学医学部麻酔・蘇生学教室）

④麻酔科医から見た周術期の輸血療法

演者：稲田 英一（順天堂医院麻酔科・ペインクリニック）

合同開催：日本麻酔科学会

10 「造血幹細胞移植の展望：最良の採取と移植をめざして」

5月24日（金）09：00～11：00

座長：緒方 正男（大分大学医学部附属病院輸血部）

山崎 宏人（金沢大学附属病院輸血部）

①自己末梢血幹細胞採取における幹細胞動員の最近の進歩

演者：鈴木 憲史（日本赤十字社医療センター血液内科・骨髄腫アミロイドーシスセンター）

②末梢血幹細胞採取に使用するG-CSF製剤の副反応の発生機序

演者：片山 義雄（神戸大学医学部附属病院血液内科）

③移植後サイトメガロウイルス感染症に対する新たな戦略

演者：竹中 克斗（愛媛大学大学院医学系研究科血液・免疫・感染症内科学）

④ヒト急性GVHDにおけるT細胞応答、診断、治療

演者：村田 誠（名古屋大学大学院医学系研究科血液・腫瘍内科学）

11 「がん制圧に向けた免疫細胞療法の展望」

5月24日（金）13：10～15：10

座長：藤井眞一郎（理化学研究所生命医科学研究センター免疫細胞治療研究チーム）

田野崎隆二（慶應義塾大学病院輸血・細胞療法センター）

① $\gamma\delta$ T細胞を用いたがん免疫細胞療法

演者：垣見 和宏（東京大学医学部附属病院免疫細胞治療学講座）

②TCR遺伝子導入T細胞を用いたがん免疫細胞治療

演者：池田 裕明（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科腫瘍医学分野）

③キメラ抗体受容体（CAR）発現T細胞を用いた造血器腫瘍に対する免疫細胞治療

演者：小澤 敬也（自治医科大学免疫遺伝子細胞治療学（タカラバイオ）講座）

④生体内樹状細胞を標的とした自然免疫と獲得免疫の両者を誘導する人工アジュバントベクター細胞によるがん免疫細胞療法

演者：藤井眞一郎（理化学研究所生命医科学研究センター免疫細胞治療研究チーム）

12 「ヘモビジランス」

5月24日（金）15：10～16：50

座長：浜口 功（国立感染症研究所血液・安全性研究部）

紀野 修一（日本赤十字社北海道ブロック血液センター）

①日赤のヘモビジランス活動

演者：平 力造（日本赤十字社血液事業本部技術部安全管理課）

②日本輸血・細胞治療学会による輸血用血液製剤の血液安全監視体制（ヘモビジランス）活動

演者：松岡佐保子（国立感染症研究所血液・安全性研究部）

③トレーサビリティーに向けたインフラ整備

演者：大谷 慎一（北里大学医学部輸血・細胞移植学）

④トレーサビリティーから見える医療施設への効果

演者：北澤 淳一（青森県立中央病院臨床検査部）

⑤トレーサビリティーの必要性和意義

演者：加藤 栄史（愛知医科大学輸血部・細胞治療センター）

### 13 「輸血医療における血小板抗体の種類とその意義

(Pathophysiological role of anti-platelet antibodies in transfusion medicine) ]

5月24日（金）09：00～11：00

座長：富山 佳昭（大阪大学医学部附属病院輸血部）

岡崎 仁（東京大学医学部附属病院輸血部）

① HPA 抗体の臨床的意義～日本の現状と課題

演者：松橋 美佳（日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター）

②抗血小板同種抗体および自己抗体の特徴とその臨床的意義

演者：柏木 浩和（大阪大学大学院医学系研究科血液・腫瘍内科）

③血小板輸血不応と HLA 抗体検査

演者：高橋 大輔（日本赤十字社中央血液研究所）

④ Clinical Relevance of different anti-HPA-1a subtypes : New challenge for platelet antibody detection

演者：Sentot Santoso（Justus-Liebig-Universität Gießen）

共催：バイオ・ラッド株式会社, ベックマン・コールター株式会社  
株式会社イムコア, 日本血小板・顆粒球型ワークショップ

### 14 「止血戦略における輸血医療の up to date」

5月24日（金）14：50～16：50

座長：長井 一浩（長崎大学病院細胞療法部）

羽藤 高明（愛媛大学医学部附属病院輸血・細胞治療部）

①大量出血時の止血ガイドラインについて

演者：宮田 茂樹（国立研究開発法人国立循環器病研究センター臨床検査部）

②産科領域の大量出血時の止血戦略

演者：牧野真太郎（順天堂大学医学部附属順天堂医院産科・婦人科）

③自己血由来フィブリン糊仕様の現状

演者：牧野 茂義（虎の門病院輸血部）

④抗線溶療法と止血対策

演者：山浦 健（福岡大学医学部麻酔科学）

共催：旭化成メディカル株式会社

### 15 「小児・新生児輸血」

5月24日（金）09：00～11：00

座長：小原 明（東邦大学医療センター大森病院小児科）

小林 正夫（広島大学病院小児科）

①小児輸血における輸血製剤分割の実施状況と取り組み

演者：石原 綾子（熊本大学医学部附属病院輸血・細胞治療部）

②母由来の抗 A, 抗 B 抗体検出時の適合血の選択

演者：浅野 尚美（岡山大学病院輸血部）

③未成年者（1～19歳）の赤血球同種抗体に関する多施設共同研究

演者：玉井 佳子（弘前大学大学院医学研究科輸血・再生医学講座）

## ④小児の輸血療法

演者：北澤 淳一（青森県立中央病院臨床検査部）

## ⑤新生児の輸血医療と胎盤血輸血が目指すもの：新生児貧血予防と神経学的予後改善

演者：細野 茂春（自治医科大学附属さいたま医療センター周産期科新生児部門）

## 16 「診断に迷う出血性疾患」

5月24日（金）13：10～14：50

座長：内場 光浩（熊本大学医学部附属病院輸血・細胞治療部）

金子 誠（東京医科大学病院臨床検査医学科）

## ①VWF 活性低下関連疾患

演者：関 義信（新潟大学魚沼地域医療教育センター・魚沼基幹病院血液内科）

## ②先天性血友病

演者：松本 剛史（三重大学医学部附属病院輸血・細胞治療部）

## ③後天性血友病 A

演者：家子 正裕（北海道医療大学歯学部内科学分野）

## ④線溶制御不能状態と出血傾向

演者：内場 光浩（熊本大学医学部附属病院輸血・細胞治療部）

共催：KM バイオロジクス株式会社

## 17 「適切な輸血療法にむけたガイドラインの整備とその現状」

5月25日（土）13：10～15：10

座長：松本 雅則（奈良県立医科大学輸血部）

田中 朝志（東京医科大学八王子医療センター輸血部）

## ①新しい赤血球製剤の使用ガイドライン

演者：米村 雄士（熊本大学医学部附属病院輸血・細胞治療部）

## ②新しい新鮮凍結血漿使用ガイドラインと大量輸血における使い方

演者：松下 正（名古屋大学医学部附属病院輸血部）

## ③有害事象の予防と治療のガイドライン

演者：岡崎 仁（東京大学医学部附属病院輸血部）

## ④自己血輸血の実施指針の改定に向けて

演者：安村 敏（富山大学附属病院検査・輸血細胞治療部）

## 18 「難病血液疾患の病態，診断，治療（輸血を含む）」

5月25日（土）09：00～11：00

座長：園木 孝志（和歌山県立医科大学医学部附属病院血液内科）

臼杵 憲祐（NTT 東日本関東病院血液内科）

## ①再生不良性貧血

演者：山崎 宏人（金沢大学附属病院輸血部）

## ②溶血性貧血

演者：菅野 仁（東京女子医科大学医学部輸血・細胞プロセッシング科）

## ③血栓性血小板減少性紫斑病

演者：松本 雅則（奈良県立医科大学輸血部）

## ④特発性血小板減少性紫斑病（ITP）の病態と治療

演者：富山 佳昭（大阪大学医学部附属病院輸血部）

共催：ノバルティス ファーマ株式会社

## 19 「アルブミン製剤使用の現状と将来」

5月25日（土）13：10～15：10

座長：久富木庸子（宮崎大学医学部附属病院輸血・細胞治療部）

牧野 茂義（虎の門病院輸血部）

①アルブミン製剤の課題と今後の展望

演者：牧野 茂義（虎の門病院輸血部）

②アルブミン製剤の使用ガイドラインの作成と改訂内容

演者：安村 敏（富山大学附属病院検査・輸血細胞治療部）

③血漿交換療法における新鮮凍結血漿，アルブミン製剤使用の現状

演者：菅野 仁（東京女子医科大学医学部輸血・細胞プロセッシング科）

④アルブミン製剤の国内自給一血液法改正を経て

演者：河野 武弘（大阪医科大学附属病院輸血室）

共催：日本製薬株式会社

#### <アジアンセッション>

5月24日（金）13：10～13：55

座長：池田 和真（岡山県赤十字血液センター）

藤村 吉博（日本赤十字社近畿ブロック血液センター）

演者：Chen Ding-Ping（Associate Professor, School of Medical Technology, Chang Gung University, Taiwan）

Chih-Chun Chang（Department of Clinical Pathology, Far Eastern Memorial Hospital, Taiwan）

Ping Chun Wu（Senior Technologist, Taipei Blood Center）